

京都迎賓館・閑院宮邸跡
2018年6月29日(金)
曇り一時雨

京都迎賓館
ガイドツアー



入口からの眺め



正面



正面の扉
樹齢700年の檜の1枚板を使用



じゅらく ま
聚楽の間

ロビー



上：花籠（竹工芸）
下：飾り台（漆、螺鈿、竹工芸）



ゆうばえ ま
夕映の間

会議、お茶のもてなし、晚餐会の待合など



てい えん
庭園



藤の間

洋食の晚餐会や歓迎式典の会場





舞台扉（截金）



和の晩餐室
厨房



座卓（全長 12m、漆の 1 枚仕上げの座卓）



座椅子（蒔絵）



五七の桐紋（日本政府の紋章）



透かし彫り



閑院宮邸跡

閑院宮家は、伏見宮、桂宮、有栖川宮家と並ぶ四親王家の一つ

後桃園天皇の崩御に伴い踐祚して以来、閑院宮系の血統が現在の皇統となります

光格天皇

東山天皇の皇孫である閑院宮典仁親王の第6皇子（師人親王）として誕生。後桃園天皇崩御の際、子が欣子内親王のみであったので、急遽閑院宮家より養子を迎え、光格天皇として即位。欣子内親王はのちに光格天皇の中宮（皇后）となります。

閑院宮師人親王は第6皇子のため閑院宮家を継ぐことはできず、出家を待つばかりでした。

後桃園天皇には皇子がいません。天皇の死は隠され跡継ぎを決めることになり、閑院宮から天皇を迎えることになりました。

他にも候補はあったようですが、後桃園天皇の皇女欣子内親王と結婚するのが前提なので一番年の近い師人親王が選ばれたようです。



直角に曲がる雨戸の仕組み



床もみじ

